

2021年9月27日
株式会社 ZOZO テクノロジーズ
早稲田大学
上智大学

ZOZO テクノロジーズ、早稲田大学、上智大学が

機械学習 実応用分野での共同研究を開始

～ ビジネスへの実応用を見据えた AI 技術研究によりサービス品質向上を目指す～



WASEDA
University



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY



株式会社 ZOZO テクノロジーズ（千葉県千葉市、代表取締役社長：久保田竜弥、代表取締役 CINO：金山裕樹 以下、ZOZO テクノロジーズ）の研究開発組織「ZOZO 研究所」と、早稲田大学データサイエンス研究所（東京都新宿区、所長：後藤正幸（早稲田大学創造理工学部経営システム工学科教授）以下、早稲田大学データサイエンス研究所）、上智大学理工学部 山下遥助教率いる 山下研究室（東京都千代田区、学長：曄道佳明 以下、上智大学山下研究室）は、2021年4月より「機械学習に基づく消費インテリジェンスの獲得とビジネス応用」に関する共同研究を開始したことをお知らせいたします。本共同研究では、ZOZO グループに蓄積されたデータを活用することにより機械学習技術を開発し、ZOZO グループの運営する各種サービスへの応用を目指してまいります。

研究の背景

近年、機械学習を含む AI（人工知能）領域の技術が注目を集めています。E コマースにおいても、各ユーザーの購買・閲覧・検索履歴などをもとに適切な商品を推薦するシステムをはじめとして、機械学習技術は様々なシーンに導入されています。また、ビジネスにおいては、新たな技術を研究・発表するだけでなく、既存の技術や蓄積されたデータを踏まえて研究を重ね、具体的なサービスに結びつける実応用を目指すことも重要です。

このような背景のもと、2018 年に研究開発組織「ZOZO 研究所」を設立し、機械学習技術の研究開発に注力してきた ZOZO テクノロジーズと、機械学習の実応用研究において数多くの実績を持つ早稲田大学データサイエンス研究所、上智大学山下研究室の 3 者が共同研究を開始いたしました。

研究内容

本共同研究のテーマは「機械学習に基づく消費インテリジェンスの獲得とビジネス応用」です。「消費インテリジェンス」とは、データ分析を通して消費者を総合的に理解する知見のことを意味しています。本共同研究で開発した機械学習技術により得られた消費インテリジェンスを、新たなマーケティング施策の立案などに活かし、ZOZO グループの運営する各サービスの品質向上に取り組めます。

既存の機械学習技術においては、「データに基づいた精度の高い結論を導くことができたとしても、結論を導くまでの論理を明らかにすることができない」という大きな課題が存在します。内部構造が見えないことから、この課題は AI の「ブラックボックス問題」とも呼ばれています。そこで、本共同研究では「AI による意思決定の根拠や理由を可視化する技術の開発」を行います。機械学習が結論を導くまでの論理を明らかにすることができれば、ユーザー一人ひとりに対してパーソナライズした施策の立案や、万が一サービスに関連してエラーや不具合が起こった場合にも、原因を特定し、改善策を検討することが可能となるため、大きなビジネスインパクトが期待されています。

お客様にとって、より利便性の高いサイトの構築とサービスの向上など、ビジネス上での応用を前提とした取り組みを通じ、多くの方がファッションをより楽しめる世の中を目指してまいります。

共同研究概要

■研究名称

「機械学習に基づく消費インテリジェンスの獲得とビジネス応用」

■研究内容例（予定）

AI による意思決定の根拠や理由を可視化する技術開発

■研究実施者

ZOZO テクノロジーズ内組織 ZOZO 研究所

早稲田大学データサイエンス研究所 後藤研究室

上智大学山下研究室 助教 山下 遥

株式会社 ZOZO テクノロジーズについて

ZOZO グループに所属するエンジニア・デザイナーなど制作に携わる全ての技術者を集結させた ZOZO グループのサービス運用・技術開発部門となる企業です。また、ZOZO テクノロジーズの研究部門として「ZOZO 研究所」を運営しており、ミッションである「ファッションを数値化する」ために研究を進めています。

ZOZO 研究所について

ZOZO 研究所は、「ファッションを数値化する」をミッションに掲げる ZOZO グループの研究機関です。ZOZO グループが保有するファッションに関する膨大な情報資産を基に、ファッションを科学的に解明するための研究開発を行っています。

- 所名 : ZOZO 研究所 (ZOZO RESEARCH)
- 設立 : 2018 年 1 月 31 日
- 拠点 : 東京、福岡
- URL : <https://research.zozo.com/>

早稲田大学データサイエンス研究所 および 後藤研究室について

早稲田大学データサイエンス研究所（所長：後藤正幸）は、早稲田大学総合研究機構内に設置されたプロジェクト研究所であり、企業や組織のマネジメント、マーケティング活動等を支える重要な要素の一つである「データ」の科学的な取り扱いの理論と実務について、学内外の研究者が協力して理論面から実用面までを交えた幅広い研究を展開しています。

- 所名 : 早稲田大学データサイエンス研究所（早稲田大学総合研究機構内）
- 設立 : 2015 年 10 月 1 日
- 拠点 : 早稲田大学総合研究機構、西早稲田キャンパス
- URL : <http://www.waseda.jp/prj-datascience/>

早稲田大学後藤研究室（創造理工学部 経営システム工学科）では、広い意味での「情報数理応用」と「経営情報学」、並びにデータサイエンスに関する研究領域を対象とし、先進的な機械学習やデータ分析技術のビジネスドメインでの応用やそのための基盤研究を中心に、多くの企業とも協力して研究活動を行っています。

- 所名 : 早稲田大学後藤研究室（早稲田大学創造理工学部経営システム工学科）
- 設立 : 2008 年 10 月 1 日
- 拠点 : 早稲田大学理工学術院、西早稲田キャンパス
- URL : <http://www.it.mgmt.waseda.ac.jp/>

上智大学山下研究室について

山下研究室では、「人間の目では見えないデータの背後にある構造を発見するための方法を開発し、より便利な社会の実現に貢献する」という目標の下、2017 年の研究室創設から、様々な企業や大学との共同研究に従事してまいりました。これまで、教育データ、マーケティングデータ、スポーツデータ、ゲームデータ、農業データなど、あらゆる種類のデータの分析方法、およびその活用方法について研究を展開してまいりました。また、近年では、情報を効率的に収集するための実験やアンケートの設計方法、収集方法の開発に関する研究にも取り組んでおります。

- 所名 : 上智大学山下研究室（上智大学理工学部情報理工学科）
- 設立 : 2017 年 4 月 1 日
- 拠点 : 上智大学 四ツ谷キャンパス
- URL : <https://www.hyamashitalab.com/homepage/>

【本リリースに関するお問合せ】

株式会社 ZOZO テクノロジーズ 広報担当 E-mail : pr@zozo.com

早稲田大学 広報室広報課 E-mail : koho@list.waseda.jp

上智大学工学部情報理工学科 助教 山下遥 E-mail : h-yamashita-1g8@sophia.ac.jp



株式会社 ZOZO テクノロジーズ <https://tech.zozo.com/>

所在地	〒263-0023 千葉県千葉市稲毛区緑町 1-15-16
代表者	代表取締役社長 久保田 竜弥 / 代表取締役 CINO 金山 裕樹
設立	2018 年 4 月 1 日
資本金	280,000 千円